

2010年7月5日

各位

大和証券キャピタル・マーケット株式会社
KBCグループ

以下の情報は、大和証券キャピタル・マーケットと KBC グループが共同で発行した英文プレスリリースを和訳したものです。

大和証券キャピタル・マーケットが KBC Group の グローバル CB 及び アジア・エクイティ・デリバティブ部門を取得

大和証券キャピタル・マーケットはグローバル CB (注) 部門及びアジア・エクイティ・デリバティブ部門の事業を、総額約 10 億米ドル (金融資産を除く事業基盤に対して 2 億米ドル程度、トレーディング在庫等の金融資産に対して 8 億米ドル程度)¹で KBC Group より譲受することで同社と合意に至りました。今回の事業譲受により大和は成長著しいビジネス分野の強固な基盤を築くこととなります。また KBC グループでは 2 億米ドルの資本が活用可能となります。

(注) CB…Convertible Bond (転換社債型新株予約権付社債)

- 2009年11月に大和証券グループの投資銀行部門である大和証券キャピタル・マーケット (以下「大和」) はアジア戦略を発表しました。今回の買収は大和にとって、当該アジア戦略を実行する上での重要なステップとなります。大和は当該事業の成長を図り、従業員と顧客に対して継続的な成長機会を提供していきます。
- 大和が取得する当該ビジネスは、グローバル CB 及びアジア・エクイティ・デリバティブのセールス、トレーディングおよびストラクチャリングにおける主要な市場プレイヤーであり、約 150 名のスタッフを擁しております。グローバル CB 部門はロンドン、ニューヨーク及び香港に拠点を置いており、25 カ国 350 以上の投資家カバレッジと 1,200 銘柄以上の CB 取扱実績を有し、顧客から高い評価を得ております。アジア・エクイティ・デリバティブ部門は、香港における上場ワラント等のマーケットメイクとアジアにおけるデリバティブ商品の提供を主要業務としており、香港上場ワラント市場において常にトップクラスのシェアを誇っております。
- 大和は当該事業、業務基盤の全てを維持する予定であり、大和の Global Head of Derivatives である Dominique Blanchard が当該事業を統括します。
- KBC バンクは、引き続きアジア太平洋地域において、欧州の本拠地市場に関係する主要顧客に対しての貸出、トレードファイナンス、国債の販売等の法人向け銀行業務を軸とした業務を推進いたします。
- 当該事業の KBC グループに対する直近 2 年間の利益貢献度は、平均で 2% となっています。
- 本取引の結果活用可能となる KBC の資本は約 2 億米ドルであり、Tier 1 比率は 10 ベーシス・ポイントの上昇となります。
- 本取引の完了は規制上の認可取得後となります。2010 年第 4 四半期 (2010 年 10~12 月) の初頃までに完了する見込みです。

¹実行時の時価で資産譲渡が行われるため、正確な金額は当該資産譲渡時に確定する予定です。金融資産については、今後の事業継続の中で大きく変動する可能性があります。

KBC グループの CEO である Jan Vanhevel は、以下の通り述べています。

「本日発表された合意は、KBC フィナンシャル・プロダクツのストラクチャード商品事業の段階的縮小という当社戦略における重要な一歩です。今回の事業譲渡により、我々は KBC グループのリスクプロファイルをさらに軽減し、グループのコア事業分野であるバンカシュアランス市場およびそのノウハウへの集中度を高めることとなります。我々は大和が従業員の将来の安定と卓越した顧客サービス水準の維持を図りつつ、同事業を成長させ得ると確信しております。」

大和証券キャピタル・マーケットのグローバル・マーケット上席担当常務取締役である松島俊直は、以下の通り述べています。

「KBC グループのグローバル CB 部門及びアジア・エクイティ・デリバティブ部門を大和証券グループに迎えるにあたり、心から歓迎の意を表したいと思えます。2009 年 11 月に当社はアジアを中心に事業のグローバル化を推進する戦略を発表しました。本件買収は当社のアジアへのコミットメントを示すだけでなく、投資家へ新たな商品ラインナップを提供することにより、グローバルに競争力のある事業構築へのコミットメントをも示すものです。当社は、グローバル CB 及びアジア・エクイティ・デリバティブの分野で主力プレイヤーとなるという当社の戦略を加速し、確固たるものにしてまいります。当社は、高い意欲と高度の専門性を有する同部門のスタッフに対して、安定的な業務環境を提供するとともに、同部門の顧客の皆様に従来通りの卓越したサービスを確実にお届けしてまいります。」

KBC グループ Market Activities 部門の CEO である Luc Popelier は、以下の通り述べています。

「KBC のグローバル CB 及びアジア・エクイティ・デリバティブ部門が大和証券グループという堅実かつ信頼できる国際金融グループとともに、成長を継続できることを喜ばしく考えております。各々のビジネスで長年培った経験とノウハウにより、大和は高まるニーズに対し、革新的な商品やハイクオリティなサービスをもって、応えていけると考えております。我々はグローバル CB 及びアジア・エクイティ・デリバティブ部門のスタッフが、大和ブランドのもと、輝かしい未来を迎えることを確信しております。」

KBC への影響

2009 年 11 月 18 日に KBC は本拠地市場（ベルギーおよび中東欧）における自社の中核的バンカシュアランス業務能力に集中し、自社グループのリスクプロファイルをさらに軽減させるという新戦略を発表しました。この新戦略の一環として KBC フィナンシャル・プロダクツの業務は、売却もしくは段階的縮小の対象とされることが決定されていきました。

KBC フィナンシャル・プロダクツはグローバル CB とアジア・エクイティ・デリバティブのセールス、トレーディングおよびストラクチャリングにおける市場の大手プレイヤーです。同社のグローバル CB 部門の商品ラインナップは、欧州、米国、アジアおよび日本市場の CB の発行体・投資家向けの発行・流通市場に係る業務全体を網羅しています。グローバル CB 部門はトップランクのプレイヤーとして、1,200 銘柄を超える世界の CB のマーケットメイク業務を行っています。KBC フィナンシャル・プロダクツのアジア・エクイティ・デリバティブ部門は香港ワラントの発行体としては第 3 位にランクされており、香港上場ワラントのマーケットメイク業務及びアジア企業の株式を原資産とするエクイティリンク債に関連するデリバティブ業務を行っています。当該事業は KBC グループの中核的戦略との整合性が薄れたと判断されたことから、売却の対象とされました。

今回の大和との合意により、2 億米ドルの資本が直ちに活用可能となります。また、同社の Tier 1 比率を 10 ベース・ポイント押し上げることとなります。今回譲渡される事業の直近 2 年間における KBC グループの純利益に対する貢献度は平均で 2%です。

この数ヶ月間に KBC フィナンシャル・プロダクツは既に、日本株事業、米国に拠点を置くリバースモーゲージ子会社ワールドアライド・ファイナンス・コープおよびアジア主体のファンド・オブ・ファンズ運用事業の事業売却を実施しています。KBC フィナンシャル・プロダクツのファンドデリバティブ、ストラクチャード・クレジット商品、エクイティ・デリバティブ事業の残存部分および残りの一部の小規模業務については、現在見直しの対象もしくは縮小中となっています。

大和との戦略的整合性

今回の事業取得により、グローバル・マーケッツ部門はさらなる基盤の拡充を実現し、信頼性を高めることができます。同社のデリバティブへの取り組みは、ホームマーケットである日本を皮切りにその商品ラインナップと基盤を拡充させるという戦略的決断により、2008年6月に開始されました。今回の買収は昨年11月に発表した、アジアにおける人員増計画に続く、アジア強化策となります。大和はエクイティ、フィクストインカム、金利、為替の分野においてデリバティブ業務を展開しています。

大和証券キャピタル・マーケッツの Global Head of Derivatives (香港駐在) である Dominique Blanchard は以下の通り述べています。

「長きにわたり市場のリーダーとして高い実績を持つ、KBC グループのクオリティの高いチームを獲得することにより、当社は買収完了後直ちに主要プレイヤーの座に就くこととなります。当該事業は当社の戦略との親和性が高く、チームの加入はアジア戦略を加速させるものといえます。」

注釈

KBC グループのグローバル CB 及びアジア・エクイティ・デリバティブ事業について (www.kbcfp.com)

KBC グループのグローバル CB 部門およびアジア・エクイティ・デリバティブ部門は D. E. Shaw Financial Products の当該事業を基に 1993 年と 1998 年にそれぞれ設立されました。D. E. Shaw は 1999 年に KBC によって買収されました。グローバル CB 部門の商品ラインナップは、欧州、米国、アジア、および日本市場の CB の発行体・投資家向けの発行・流通市場に係る業務全体を網羅しています。同部門はトップランクのプレイヤーとして、1,200 銘柄を超える世界の CB のマーケットメイク業務を行っています。

アジア・エクイティ・デリバティブ部門は、香港上場ワラントのマーケットメイク業務及びアジア企業の株式を原資産とするエクイティリンク債に関連するデリバティブ業務を行っています。香港ワラント発行体としては 3 位にランクされており、両部門はその後取扱商品およびサービスのラインナップを拡充し、それぞれの領域において有力市場プレイヤーおよび主要ブランドの地位を確立しました。規模拡張性、順応性に富み統合的な最先端のグローバル基盤を柱として業務を遂行しています。両部門の従業員数は約 150 名であり、事業拠点をロンドン、ニューヨークおよび香港に置いています。

大和証券キャピタル・マーケッツについて (www.daiwacm.com)

大和証券キャピタル・マーケッツは大和証券グループの投資銀行部門であり、同グループの 100% 子会社です。数多くの受賞歴を有する同社の従業員数は全世界で 4,000 名を超え、アジア、中東、欧州、北米およびオセアニアに展開している 20 を超える拠点のネットワークを通じて、ブローカレッジ、デリバティブ、資金調達、新規株式公開、M&A およびその他革新的な金融ソリューションなどの総合的金融サービスを顧客に提供しています。

大和証券グループについて (www.daiwa-grp.jp/)

大和証券グループは日本の大手証券グループであり、その従業員数は全世界で 16,000 名を超え、個人向け委託売買業務、投資銀行業務および資産運用などの総合的な金融サービスを提供しています。大和証券グループは、1902 年の創業以来一貫して金融サービス業界での業務に邁進しています。持株会社の大和証券グループ本社は東京証券取引所第一部に上場しています。

KBC Group NV について (www.kbc.com)

KBC はベルギーおよび中東欧 (チェコ、スロバキア、ポーランド、ハンガリー、ブルガリア) の本拠地市場を中心に事業展開するバンカシュアランス会社です。本社所在地は欧州の中心に位置するベルギーのブリュッセルです。

KBC グループの従業員数は約 54,000 名です。また 1,200 万人の顧客にサービスを提供しています。

KBC グループ NV 株式の上場取引所は NYSE ユーロネクスト・ブリュッセル (銘柄コード「KBC」) です。

お問い合わせ先：

KBC Group:

- Wim Allegaert, General Manager, Investor Relations, KBC Group

Tel 32 2 429 40 51 wim.allegaert@kbc.be

- Viviane Huybrecht, General Manager, Group Communications/Spokesperson, KBC Group

Tel 32 2 429 85 45 pressofficekbc@kbc.be

大和証券キャピタル・マーケット

- (東京)

経営企画部広報課：神田、芹澤、新井田

Tel 81 3 5555 3039 (publicrelations@jp.daiwacm.com)

- (ロンドン)

Communication & Marketing, Paul Lyon/Caroline Klein, London

Tel 44(0) 20 7597 8109 (mediarelations@uk.daiwacm.com)

以上